

森林整備工事における伐倒総本数の管理に関する特記仕様書

第1条 目的

本契約による森林整備工事は伐倒総本数が設計図書に示されているため、受注者は伐倒総本数の管理(以下「管理」という。)を行わなければならない。ついで、本特記仕様書により受注者が行う管理方法及び発注者が行う伐倒総本数の確認(以下「確認」という。)方法について定めるものである。

第2条 管理

受注者は管理を行う場合、伐倒木に管理番号(ナンバーリングテープ等を伐倒木に貼付する。)を付け、伐倒総本数を伐倒本数管理表(以下「管理表」という。)、管理番号位置図(以下「位置図」という。)及び伐倒木確認写真(以下「確認写真」という。)を作成しなければならない。なお、受注者は作成した管理表、位置図及び確認写真は完成書類とともに発注者へ提出しなければならない。

第3条 確認

発注者は受注者から提出された管理表、位置図及び確認写真により確認するものとする。また、発注者は段階確認においても伐倒木を確認するものとする。

第4条 その他

受注者は管理表及び位置図を作成するにあたり、別添記載例を参考にすること。また、確認写真は施工地ごと2から3枚程度又は伐倒本数1,000本に1枚程度撮影すること。

記載例

伐倒本数管理表

施工地区名 〇〇地区

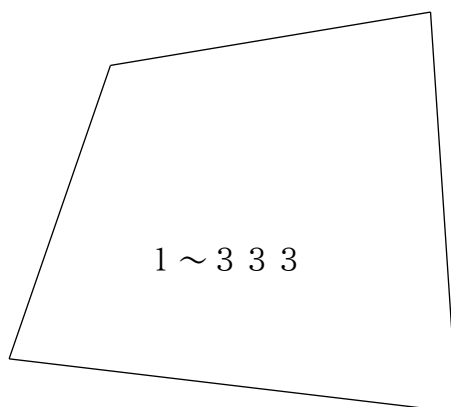
作業実施日	選木・伐倒本数	管理番号	備考
16.7.10	56	1～56	
16.7.11	46	57～102	
16.7.12	61	103～163	
16.7.13	選84	164～247	
16.7.13	選86	248～333	
16.7.14	伐77		
16.7.15	伐93		
計	伐333		

※管理番号欄には、作業実施日ごとに、伐倒木に付した番号（例：「1～333」）を記載する。管理番号は管理番号位置図で概ねの位置がわかるようにしておく。

※備考欄には、1 施工地区内を複数の区域に分けて管理を行った場合など、必要に応じてこの欄に記入する。

管理番号位置図

 〇〇地区



記載例) 1 施工地区内を複数の区域に分けて管理する場合

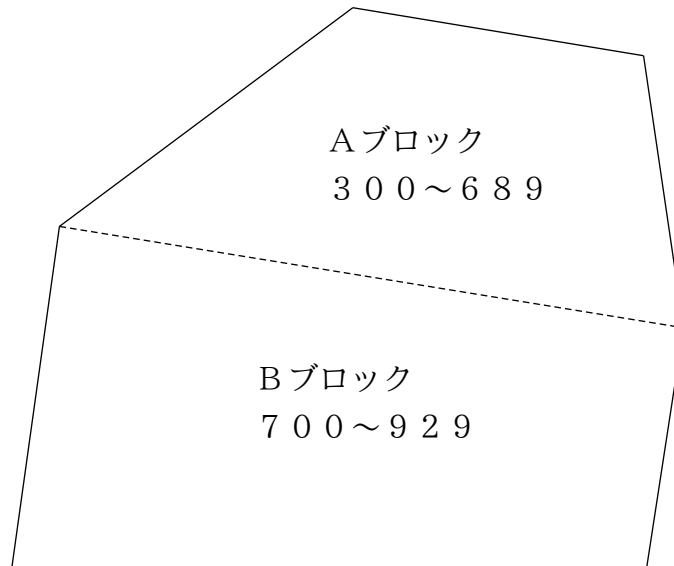
伐倒本数管理表

施工地区名 △△地区

作業実施日	選木・伐倒本数	管理番号	備考
16.9.16	120	300~420	Aブロック
16.9.17	130	421~550	Aブロック
16.9.18	139	551~689	Aブロック
16.9.20	76	700~776	Bブロック
16.9.20	77	777~854	Bブロック
16.9.20	74	855~929	Bブロック
計	616		

管理番号位置図

△△地区



※ ブロック間の境界線は概ねで、実測の必要はない